



「包む」に挑む
「包む」を創る

第60期中間株主通信

2021年1月1日～2021年6月30日

ダイナパック株式会社

証券コード：3947

ごあいさつ

お客様の“笑顔”が私の報酬です。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ダイナパックは創業以来“包装”を通じて人から人へ、企業から企業へとお客様の想いを大切に包んで世界中に届けてまいりました。

これからはさらに加速する市場の変化、技術革新、ニーズの多様化が予想されます。

しかし、モノを包む“包装”を通じて人から人へ、企業から企業へと想いを大切に届けるという基本哲学は変わりません。私たちはそれをさらに向上させるべく、技術力、デザイン力、マーケティング力、提案力、スピード力などに磨きをかけ、お客様の満足を勝ちとりたいと思っています。

私は全社員と心を一つにして、ダイナパックならではのイノベーションを創出し、お客様の期待に応え、世界中の人々から笑顔の報酬を頂けるよう努力を重ねてまいります。



今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

ここに当社第60期中間（2021年1月1日から2021年6月30日まで）株主通信をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2021年8月

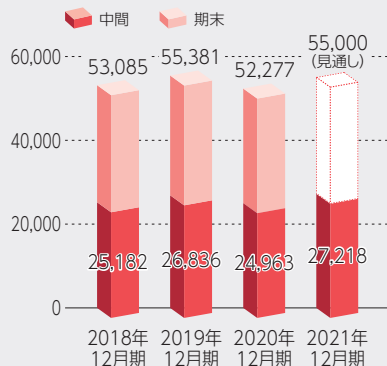
代表取締役社長 杉山 喜久雄

業績ハイライト

● 売上高

272億18百万円

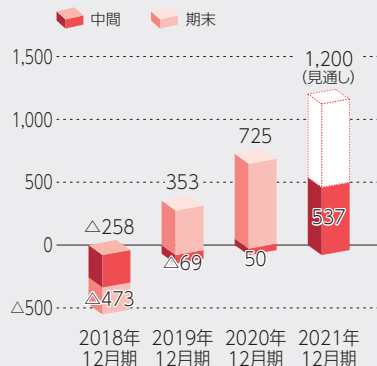
(単位：百万円)



● 営業利益

5億37百万円

(単位：百万円)

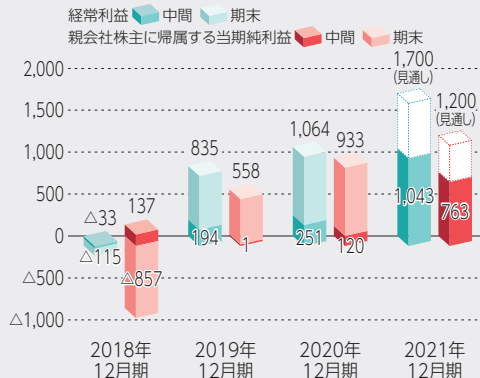


● 経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益

10億43百万円

7億63百万円

(単位：百万円)





経営環境について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出では緩やかな増加が続き、企業収益や設備投資では持ち直しの動きもみられましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、サービス支出を中心に個人消費は弱い動きとなり、依然として厳しい状況で推移しました。海外経済においても、一部の国々では順調なワクチン接種により、経済活動の再開が進んでおりますが、変異株による断続的な感染拡大の波が発生している状況に変わりはなく、さらに米中対立や半導体需給ひっ迫の影響もあり、先行きが不透明な状況が続きました。

段ボールの国内生産動向は、1-6月累計数量（速報値）では前年比104.1%と、電機・機械分野を中心に前年からの回復がみられました。

当期の取り組み

このような環境下、当社グループの国内販売数量は、段ボールケースでは、主力の食品分野においては、外出自粛や時短営業の影響を受けたギフト、業務用需要の減少は続きましたが、通販や電機・機械分野の需要増があり、前年比103.1%となりました。段ボールシートでは、昨年コロナ禍で大きな影響を受けたボックスメーカーの業績回復により、前年比106.5%と大きく伸長しました。

収益面においては、段ボールの販売数量の増加に加えて、印刷紙器事業の寄与により、利益計上となりました。

海外においては、主原材料価格が高い水準で維持されたことに加えて、当社の進出している東南アジア地域において、新型コロナウイルス感染拡大による企業活動の制約が足かせになり収益面では厳しい状況となりました。

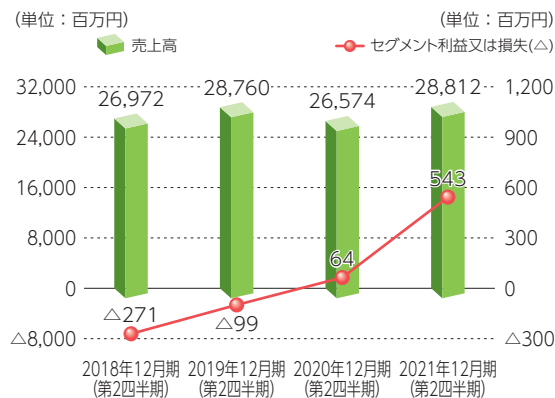
その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、272億18百万円（前年同期比109.0%）、営業利益5億37百万円（前年同期比1,067.2%）、経常利益10億43百万円（前年同期比415.0%）および親会社株主に帰属する四半期純利益7億63百万円（前年同期比633.5%）となりました。

包装材関連事業

事業内容

段ボールシート、段ボールケース、印刷紙器、美粧段ボールケース、オフセット印刷物、プラスチックフィルム等の製造販売、機械設備等の販売

当セグメントにおきましては、売上高は288億12百万円（前年同期比108.4%）、セグメント利益（営業利益）は5億43百万円（前年同期比840.3%）となりました。



不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は1億91百万円（前年同期比99.8%）、セグメント利益（営業利益）は1億56百万円（前年同期比98.0%）となりました。

連結財務諸表

詳細情報は

ダイナパック IR

検索



第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期末 2020年12月31日現在	当第2四半期末 2021年6月30日現在
資産の部		
流動資産	21,386	21,277
固定資産	45,476	42,748
有形固定資産	21,223	21,349
無形固定資産	816	743
投資その他の資産	23,436	20,655
① 資産合計	66,862	64,026
負債の部		
流動負債	18,893	18,470
固定負債	8,754	7,675
② 負債合計	27,647	26,146
純資産の部		
株主資本	29,471	29,737
その他の包括利益累計額	9,688	8,084
新株予約権	8	8
非支配株主持分	46	49
③ 純資産合計	39,214	37,879
負債純資産合計	66,862	64,026

第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 2020年1月1日から 2020年6月30日まで	当第2四半期 2021年1月1日から 2021年6月30日まで
売上高	24,963	27,218
売上原価	20,854	22,484
売上総利益	4,108	4,734
販売費及び一般管理費	4,058	4,196
営業利益	50	537
経常利益	251	1,043
親会社株主に帰属する四半期純利益	120	763

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

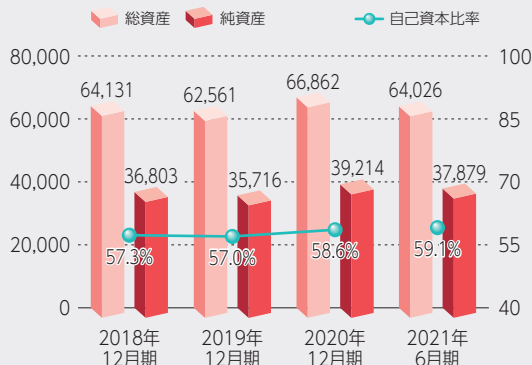
(単位：百万円)

科目	前第2四半期 2020年1月1日から 2020年6月30日まで	当第2四半期 2021年1月1日から 2021年6月30日まで
④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,646	2,268
⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,144	△ 1,066
⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 328	△ 1,256
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	212	△ 49
現金及び現金同等物の期首残高	1,997	2,228
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,209	2,179

総資産／純資産／自己資本比率

(単位：百万円)

(単位：％)



Point

- ① 当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ28億360万円減少し640億26百万円となりました。これは、主に前連結会計年度末に比べ保有株式の株価下落にともなう投資有価証券残高の減少などによるものであります。
- ② 当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ15億1百万円減少し261億46百万円となりました。これは、主に投資有価証券の含み益の減少に伴う繰延税金負債の減少などによるものであります。
- ③ 当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ13億35百万円減少し378億79百万円となりました。これは、主に保有している投資有価証券の時価の下落によるその他有価証券評価差額金の減少などによるものであります。
- ④ 営業活動により得られた資金は22億68百万円（前年同期は16億46百万円）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益を9億96百万円計上したことおよび減価償却費を9億24百万円計上したことなどによるものであります。
- ⑤ 投資活動により使用された資金は10億66百万円（前年同期は11億44百万円）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出9億74百万円などによるものであります。
- ⑥ 財務活動により使用された資金は12億56百万円（前年同期は3億28百万円）となりました。この主な要因は、短期借入金の減少5億16百万円、長期借入金の返済2億24百万円および配当金の支払4億94百万円などによるものであります。

会社情報



会社概要 (2021年6月30日現在)

商 号	ダイナパック株式会社
本 社	〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目1番1号
登記上の本店所在地	〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目14番15号
資 本 金	40億円
従 業 員	2,263名 (連結) 662名 (単体)
設 立	1962年 (昭和37年) 8月
事 業 内 容	段ボールシート、段ボールケース、印刷紙器、美粧段ボールケース、オフセット印刷物、プラスチックフィルム等の製造販売、機械設備等の販売、不動産の賃貸

役員 (2021年6月30日現在)

代表取締役社長	杉 山 喜久雄	取締役	深 井 靖 博
代表取締役副社長	齊 藤 光 次	取締役	富 澤 豊
取締役専務執行役員	大 山 英 男	取締役常勤監査等委員	仲野谷 公 美
取締役専務執行役員	野 澤 政 司	取締役監査等委員	児 玉 弘 仁
取締役専務執行役員	篠 岡 尚 久	取締役監査等委員	松 若 恵理子

- (注) 1. 取締役の深井靖博氏および富澤豊氏は、社外取締役であります。
2. 取締役監査等委員の児玉弘仁氏および松若恵理子氏は、社外取締役監査等委員であります。
3. 当社は、取締役の深井靖博氏、富澤豊氏および取締役監査等委員の松若恵理子氏を東京・名古屋両証券取引所の定めに基づく独立役員として指定しております。
4. 取締役監査等委員の松若恵理子氏の戸籍上の氏名は、松本恵理子であります。

ネットワーク



国内事業所 7
国内グループ会社 9
海外グループ会社 6

国内・海外に広がる、ダイナパック・グループ

川越事業所



旭段ボール(株)厚木工場



ダイナパック(株)本社



多治見ダイナパック(株)

土岐ダイナパック(株)中津川工場

宮城ダイナパック(株)古川工場

宮城ダイナパック(株)登米工場

福島事業所



宇都宮ダイナパック(株)

旭段ボール(株)岩槻工場

クラウン紙工業(株)

東京営業所

沼津ダイナパック(株)



静岡事業所

(株)小倉紙器

つくば事業所



旭段ボール(株)本社

土岐ダイナパック(株)



2021年6月1日付けでDYNAPAC(HK)LTD.および泰納包装制品貿易(深圳)有限公司を連結子会社の範囲より除外しました。

株式情報



発行済株式総数 9,917,688株 (自己株式404,903株を除く。)

株 主 数 2,336名

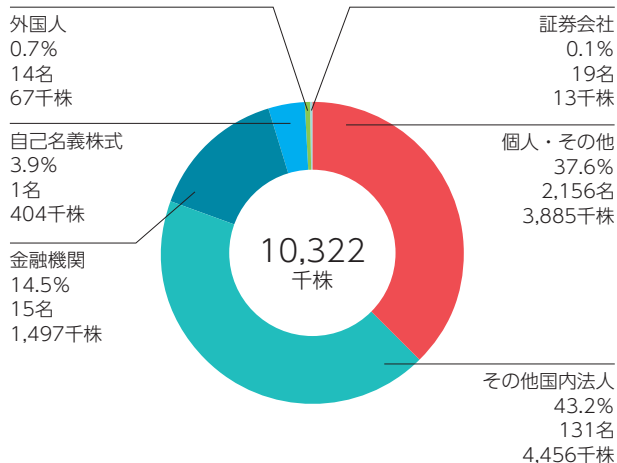
単 元 株 式 数 100株

大 株 主 の 状 況

株主名	持株数	持株比率
カゴメ株式会社	1,793千株	18.1%
ダイナパック取引先持株会	1,008	10.2
株式会社三菱UFJ銀行	313	3.2
伊藤忠紙パルプ株式会社	289	2.9
丸紅紙パルプ販売株式会社	277	2.8
レンゴー株式会社	275	2.8
王子マテリア株式会社	272	2.7
第一生命保険株式会社	268	2.7
大王製紙株式会社	241	2.4
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	210	2.1

(2021年6月30日現在)

● 所有者別株式分布状況



- (注) 1. 持株比率は自己株式を控除し算出しております。
 2. 当社は自己株式404千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

ホームページのご案内

当社の

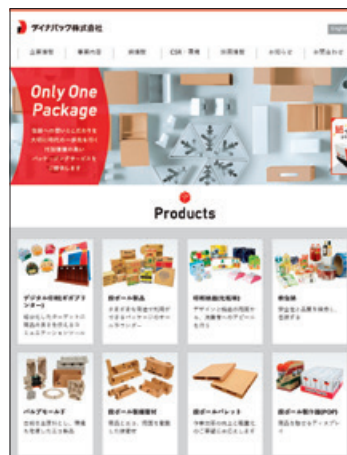
- 会社情報
- IR情報
- 採用情報

などはこちらからご覧ください。

ダイナパック

検 索

<https://www.dynapac-gr.co.jp/>



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月下旬
単元株式数	100株
基準日	
定時株主総会・期末配当	毎年12月31日
中間配当	毎年 6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および 全国各支店で行っております。
電子公告・決算情報掲載の ホームページアドレス	https://www.dynapac-gr.co.jp/koukoku.htm

(ご案内)

・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

TOPIC

ダイバーシティ推進

ダイナパックグループでは、ダイバーシティ推進の取り組みの一つとして、外国人の雇用促進を図っております。多様な人材を採用することで、優秀な若手人材の確保ができ、また、いろいろな価値観や視点を社内に取り込むことで、今後、企業全体が多角的に成長することを目指していきます。



現在40名の外国人がダイナパックグループの国内拠点で活躍しています！

ダイナパック株式会社

本社：名古屋市中区錦三丁目14番15号

TEL：052-971-2651



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。